

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	日清シスコ株式会社	事業所名	東京工場				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	ISO14001認証取得の確認			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	自動車地球温暖化対策計画書の確認(規定に達していない為未提出)			○	○	○
(02)	貨物輸送事業者に対する自動車地球温暖化対策計画書等の提出確認						
02	モーダルシフトの推進	北海道・九州地区へは船便での輸送を行っている 一部鉄道輸送を利用し、九州地区において鉄道輸送のテスト実施			○	○	○
()							
04	積載率の向上	積載量に応じて、4t・10tの車両を使い分けしている。			○	○	○
(03)	輸送量に応じた適正車種での発注						
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施	一部、菓子メーカー数社による共同配送をしている。			○	○	○
(02)	他者との共同輸配送の取組						
06	低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進	車両交換時に低燃費車への切り替えを進めている。			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨						

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 （02） 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	低燃費車の使用状況を確認している。	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 （03） 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	月1回、駐車車両におけるアイドリングストップ調査の実施	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 （01） 発注時間及び配送時間のルール化	午後1時30分を当日配送の締め切り時間とし、ルール化している。	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 （03） 道路混雑時の輸配送の見直し	輸送事業者へ納品コースが適正であるか、随時見直すよう依頼している。	○	○	○
08 物流の効率化 （02） 物流拠点の活用	各地域に拠点を設置し、最終顧客への配送を実施している。	○	○	○
08 物流の効率化 （03） 輸送距離及び回数を削減する取組	トレーラーなどの大型車両投入を検討し、1回あたりの運送量を増やすことで輸送回数削減の取り組みをしてる。	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 （ ）	貨物輸送事業者と定期的にコミュニケーションをはかり、情報共有をしている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	深夜・早朝着便については、門を開放し敷地内で待機してもらう。	○	○	○
---------------------------------------	--------------------------------	---	---	---

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	日清シスコ株式会社	事業所名	東京工場			
取組措置	具体的取組措置			H30	H31	H32
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進	通勤で自転車を利用する従業員は、自転車保険の加入を義務付けている。			○	○	○
04 時差通勤の実施 ()	一部部門にて、フレックス制度を導入			○	○	○
07 エコドライブの推進 (01) エコドライブの啓発	環境に配慮する為、工場敷地内にアイドリングストップの標識を設置			○	○	○